

令和8年度 第2回 豊田市保見地域会議 会議録

開催日時	令和8年5月27日（水）	開会	閉会
		午後7時	午後8時08分
会 場	保見交流館1階 多目的ホール		
出席者	地域会議委員：15人		
	会長：杉野 秋吉 副会長：楓原 和子		
	委員：荒川 真司、加藤 康夫、加納 誠、上瀬 靖彦、神谷 浩一、 近藤イゴルアキヒト、篠田 岳司、鈴木 照男、藤井 玲子、 藤原 美里、宮川 安弘、八木 宝、山崎 健司		
欠席者	0名		
傍聴者	なし		
事務局	猿投支所：小澤支所長、天野副支所長、児玉主査監、宮石担当長		
	1 豊田市民の誓い 2 会長あいさつ 3 新たな提言に向けた取組について 4 令和8年度の地域課題解決事業について 5 その他		

■議事（要約）

2 会長あいさつ

今回から地域課題の話し合いに入っていくが、こつこつと進められたら良いと思う。保見地区に共通の課題を見つけて、その解決を図っていくことを最終的に行っていきたいが、共通の課題を見つけるには時間がかかると思う。

3 新たな提言に向けた取組について、4 令和8年度の地域課題解決事業について

議題3・4合わせて、資料2頁から30頁までを事務局から説明

【質疑応答】

副会長：地域課題解決事業の小学校で行われている健康づくりの教室は公開されているのか？現場を見たい。

⇒事務局：公開はされていないが、地域会議の委員であれば見学可能と思う。学校側と調整するので、見学希望の方は事務局へ連絡をいただきたい。

副会長：次回までに回答シートに皆さんの考える地域の課題を記入してきてほしい。宿題となるので、わからないことがあればここで質問してほしい。

委員：保見地区は広いので、共通の課題と言われても思いつかない。自治区にある課題について書いてよいか？

⇒会長：保見地区全体で思いつかなくても、身近な自治区の範囲の課題でも個別の課題でも書いてほしい。それらを寄せあって地域の課題を見つけていきたい。た

だし注意してほしいのは、解決策は豊田市と共働で実施できることを考えたいので、国や県に対する要望などは除いて書いてほしい。

前回の提言書や他地域の提言書を見ると立派なものに見えるが、課題を見つけるところから手順を踏んで作っていきたい。新しい課題を一から考えなくても、前回の提言を継続して行ったり角度を変えて掘り下げたりすることでもよいと思う。

委員：資料 8 頁のアンケート調査について、この調査の内容と対象への周知について伺いたい。この事業は現在進行形なのか？

⇒事務局：アンケートは高齢者クラブ等 27 団体を対象としたもの。その当時の活動をまとめたものと思っていただきたい。事業は現在進行中。各団体での活動はあるが、さらに地区全体で健康を課題として取り組む事業となっている。

委員：資料 10 頁にあるウォーキングは実施しているのか？

⇒事務局：現在の取組は子どもを対象にしているので、未実施。

委員：健康教室の広報チラシはどこが作成しているのか？

⇒事務局：交流館が作成している。

委員：すでに取り組んでいる健康づくり以外の課題を出せばよいのか？

⇒事務局：健康づくりでもまだ継続して課題があれば出してもよいし、その他に地域でいろいろな困りごとがあれば、それをかいてきていただければよい。

⇒副会長：例えば伊保町のあたりの通学路が心配であるとか、地域と学校のつながりが希薄であるとか、自治区への加入率が低いとか、そのようなことを箇条書きでも、小さなことでもよいので、回答シートに記入してほしい。みんなで考えれば何とかかなと思う。

委員：以前、通学路に倒木があったことがあり、その撤去について学校や道路などで行ってもらえず、わくわく事業やなにかで地域の課題として解決してもらったことがある。そのようなことでもよいのか？

⇒会長：そのようなことでも出してもらいたい。

⇒事務局：地域と市の共働で取り組めるテーマをだしていただいた方がよい。工事申請など別で解決する手段がある事柄はテーマになりにくい。ただし、どのようなことが当てはまるのかがわかりにくいと思うので、とりあえず課題と思うことを持ち寄ってもらい、この場で事務局と一緒に仕分けしてテーマをまとめていきたい。

副会長：小さなことでも、もしかしたら同じ課題を持っている人がいるかもしれない。別の制度で解決できるものは、ここで合わせて考えていきたい。

5 その他

【情報共有】

・クマの出没について

副会長：クマの出没の目撃情報が相次いでいるが、見間違いで通報する場合もあるようだ。目撃情報が多くなると怖くて畑などに行けない人も出てくる恐れが

ある。あまり怖がらずに、注意のみをしておきたい。

委員：誤報については取り消しなどできないのか？

⇒事務局：クマがいたという証拠を現場に探しに行くが、爪痕などの確実な証拠がある場合は確定できる。しかし、そのような証拠はなかなか見つからず、その一方でクマがいないと確実に言えない状態がほとんどなので、取り消しは難しいのが実情。市内にクマがいることは確実なので注意しなければならないが、東北地方とは状況が異なるため、恐れすぎないようにすることも必要。

【事務連絡】

・次回の予定

日 時：令和8年6月24日（水）午後7時から

場 所：保見交流館 1階多目的ホール